

## < 資料 >

= 信濃毎日新聞データベースから =

### ◇松本城世界遺産推進委が総会

20080702／朝刊／中信／018頁／060版／発信元：自社／併用素材：

人物：／企業：／市町村：松本市／記者名：塚田 岳／執筆者：

区分：本社／ジャンル：政治・経済／事象：／種別：

### ▼「**国宝松本城を世界遺産に**」推進実行委が総会

松本市、信濃毎日新聞社など五十四団体でつくる「**国宝松本城を世界遺産に**」推進実行委員会(会長・菅谷昭市長)は一日、市Mウイングで総会を開いた。四月から始めている、松本城に関するクイズを実行委のホームページに載せる取り組みなど、本年度事業や予算を承認した。

市は、既に登録済みの姫路城の拡張遺産として、国宝四城による近世城郭群の形で世界遺産登録を目指していると現状を報告した。滋賀県彦根市、愛知県犬山市と五月に正式に共同研究会を発足させたと説明。まず三市で文化価値などの研究を進め、兵庫県姫路市にも協力を求めていく考えを示した。

### じょうほう交差点 = 松本題材に写真エッセー コンテスト作品募集 松本城世界遺産推進委

20080802／朝刊／生活情報／031頁／060版／発信元：自社／併用素材：

人物：／企業：／市町村：／記者名：丸山 祥子／執筆者：

区分：県内／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：

松本市や松本商工会議所など五十四団体でつくる「**国宝松本城を世界遺産に**」推進実行委員会は、写真エッセーコンテストの作品を募集している。松本城の世界遺産登録を目指す取り組みに関心を高める狙いで三回目。コンテストに合わせて九月からは、エッセーの書き方などを指導する講座を開く。

コンテストのテーマは「松本城・城下町の魅力」。写真と自作エッセーを組み合わせた作品をA4サイズに印刷したものと、作品の画像データを入れた記憶媒体で応募する。一人三点まで。十二月五日必着。最優秀賞一点に賞金五万円、優秀賞二点に同三万円を贈る。

講座は九月九日—十一月二十五日の全八回。同市南部公民館を主会場に平日の昼間に開く。松本城で写真を撮影、パソコンへの写真の取り込み方やレイアウト法なども学ぶ。講師は郷土出版社(松本市)社長の神津良子さん、パソコン操作のボランティア団体「Pすけっと」を主宰する酒井和彦さん。受講料二千円。

コンテスト、講座の応募と問い合わせ先は信濃毎日新聞松本本社内の実行委事務局(〒399—8711 松本市宮田2の10 電話0263・25・2153)。コンテストの応募は、郵便番号、住所、氏名、電話番号を作品の裏面に記入。作品を入れた封筒に「松本城写真エッセーコンテスト係」と明記して郵送するか、事務局に持ち込む。講座は八月十二日までに、はがきかファクス(0263・26・8730)で事務局の「松本城写真エッセー講座係」に申し込む。

## 松浦ユネスコ事務局長と会見 松本・彦根・犬山城は姫路城と同種 一本化申請を 平泉、次は有望

20080818／朝刊／社会1／027 頁／090 版／発信元：時事通信／併用素材：

人物：／企業：／市町村：／記者名：／執筆者：

区分：日本／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：

【パリ17日時事】国連教育科学文化機関(ユネスコ)の松浦晃一郎事務局長(70)は十七日までに、パリの本部で時事通信との単体会見に応じた。日本の**世界遺産**候補九件のうち、今年登録が見送られた「平泉の文化遺産」(岩手県)について、「(登録基準の)顕著な普遍的価値の概念を練り直し、保護管理計画を強化すれば二〇一一年には登録が有望だ」と語った。

松浦氏は一九九九年からユネスコ事務局長を務め、今年六月に著書「**世界遺産**」を出版するなど権威として知られる。

七月の**世界遺産**委員会で登録延期とされた平泉について、松浦氏は日本側がユネスコ設定の六つの登録基準のうち、第三一六を選んで文書を作成した点に問題があったと指摘した。さらに、ユネスコの諮問機関が「平泉の一部物件は基準第二の『文化の発展に重要な影響を与えた価値観の交流を示すもの』に該当する」と評価していたと明かした上で、申請の枠組みを変更するよう求めた。

九二年に候補の暫定リストに記載されたまま、推薦のめどが立っていない彦根城(滋賀県彦根市)に

については、「単独登録は難しい」と指摘。近世城郭建築として世界遺産に登録された姫路城(兵庫県姫路市)と一本化し、シリアル・ノミネーション(同種の遺産群の推薦)の扱いにすれば、「道は開ける」と述べた。

さらに、暫定リストには入っていない国宝の松本城(松本市)、犬山城(愛知県犬山市)を挙げ、姫路城や彦根城とともに同種の遺産群として申請することも勧めた。

このほかの候補では、小笠原諸島(東京都)を評価。「非常にいい。生態系の維持が重要になる」と述べた。



松本市は、既に登録済みの姫路城の拡張遺産として、松本城、彦根城、犬山城と合わせた国宝四城による「近世城郭群」の形での登録を目指し、五月に彦根市、犬山市と共同研究会を発足させている。

## 世界遺産候補、文化庁が選定 「佐渡」など新たに5件 県内4件は「準備」「見直し必要」

20080927／朝刊／総合1／001 頁／090 版／発信元：共同通信／併用素材：図

人物：／企業：／市町村：／記者名：／執筆者：

区分：日本／ジャンル：文化・芸能／事象：／種別：

文化庁は二十六日、新たな世界文化遺産候補として、地方自治体から公募した三十二件のうち「金と銀の島、佐渡」(新潟県)など五件を選んだ。これにより日本の遺産候補は、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の暫定リストに既に掲載されている「平泉の文化遺産」(岩手県)など八件を含め計十三件となる。文化庁はこれで自治体公募を打ち切る。【関連記事33面に】

候補外の二十七件については「現在の提案を生かして準備を進める」の十件と、「テーマや内容を大幅に見直す必要がある」の十七件に分類。県関係の四件は、「善光寺と門前町」(長野市)「松本城」(松本市)「妻籠(つまご)宿・馬籠(まごめ)宿と中山道」(木曾郡南木曾町・岐阜県中津川市)が「準備を進める」、「日本製糸業近代化遺産」(岡谷市)が「大幅に見直す必要がある」とされた。いずれも課題を解決し提案を見直せば、文化庁が文化審議会で候補にできるか再検討する。

政府が世界文化遺産に推薦した「平泉」が七月のユネスコ世界遺産委員会で登録延期となったことを

受け、候補五件のうち三件には、登録の可能性を高めるための条件を付けた。「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道、青森など四道県)には東日本各地の縄文遺跡を加えることを、「佐渡」には**世界遺産**「石見銀山遺跡」(島根県)との統合、「百舌鳥(もず)・古市古墳群」(大阪府)に、暫定リスト掲載前に保存管理態勢を整えることを求めた。

## 松本の写真エッセーコンテスト「松本城の七変化」が最優秀賞

20081218／朝刊／中信2／026頁／060版／発信元：自社／併用素材：写

人物：／企業：／市町村：／記者名：丸山 祥子／執筆者：

区分：県内／ジャンル：文化・芸能／事象：賞／種別：

「**国宝松本城を世界遺産に**」推進実行委員会は十七日、「松本城・城下町写真エッセーコンテスト」の審査を行い、最優秀賞を松本市南松本の中田清和さん(61)の「松本城の七変化」=写真=に決めた。優秀賞、佳作に決まったほかの四人と合わせ、来年一月二十一日に表彰式を行う。

松本城や城下町を題材に、自作のエッセーと撮影した写真をA4サイズの大きさにパソコンで組み合わせた作品を審査。中田さんの作品は、天守閣を背にした庭園の夜桜や雪の舞う光景など、城の四季折々を写真六枚で紹介。エッセーは、季節の花や夕焼けなどの時間帯によってさまざまに表情を変える城への思いをつづった。

中田さんは「去年は佳作だったので、頑張ろうと思っていた。光栄です」と受賞を喜ぶ。季節の変わり目に足を運ぶたびに写真を撮りためていたといい、「そのときの気持ちや周りの環境によって違って見えるのが、松本城を見る一番の楽しみ」と話した。

コンテストは松本市や松本商工会議所、信濃毎日新聞社など五十五団体でつくる実行委が二〇〇六年から始め、三回目。今年は九人から十五点の応募があった。ほかの入賞者は次の通り(敬称略、いずれも松本市)。

▽優秀賞 古畑良久(蟻ヶ崎三)、三沢枝美子(島内)

▽佳作 宮本鉄雄(今井)、山崎静雄(筑摩二)